

## 令和2年度 第2回下野市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和3年2月18日(木) 午後4時00分～午後4時45分  
2 場 所 下野市役所 3階 304会議室  
3 出 席 者 下野市長 広瀬寿雄

### (下野市教育委員会)

教 育 長	池 澤 勤
委 員	永 山 伸 一
委 員	熊 田 裕 子
委 員	石 嶋 和 夫
委 員	佐 間 田 香

### (事務局関係)

総 務 部 長	梅 山 孝 之
総務人事課長	倉 井 和 行
総務人事課課長補佐	平 野 享
教 育 次 長	清 水 光 則
教育総務課長	近 藤 善 昭
学校教育課長	田 澤 孝 一
生涯学習文化課長	篠 崎 正 代
文化財課長	山 口 耕 一
スポーツ振興課長	若 林 毅
教育総務課課長補佐	神 田 晃

4 傍 聴 人 1名

5 議 事

- (1) 第二次教育大綱の策定について
- (2) 第二次教育振興計画(案)について
- (3) その他

(神田教育総務課課長補佐) ただいまより、令和2年度第2回下野市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、広瀬市長よりご挨拶いただきしたいと思います。

(広瀬市長) 皆様こんにちは。教育委員会から引き続き、大変ご苦勞様です。先ほどまで、きらら館の方で、ワクチン接種のシミュレーションを行ってまいりました。一つ一つ問題を提起し、対応していくことで進めています。やってみてどうにかたちかというものを体験してみないと、身動きが取れないという状態、そしてそれをやることによって市民の皆さんの安全安心と同時に、最初にワクチン接種を受ける人はドキドキしていると思われそうですが、そのドキドキ感を少しでも和らげられるように、我々の方でしっかりとした体制づくりができれば、その分安心されるかと思しますので、そういったかたちで進めてまいりたいと思います。

本日は、第二次教育大綱の策定と第二次教育振興計画(案)についての会議になりますが、平成28年度から令和2年度までの5年間の教育大綱、教育振興計画に引き続いていくものとして、令和3年度から7年度までの5か年、第2次というかたちで進めていくわけであります。この間、今までの歴史的な流れ、下野市が目指すべき方向性というものを持ってきたのと同時に、新型コロナウイルスといった時代を背景に、リモートやソサエティ5.0が真正面からきたような状態や、SDGsをどのように組み込んでいくかなど、そういったものが入ってきている中における教育大綱、教育振興計画づくりと考えております。

皆様方のご意見をいただき、次にしっかりとつながっていく教育大綱、そして教育振興計画となるよう推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(神田教育総務課課長補佐) それでは議事に入らせていただきます。総合教育会議では広瀬市長が議長となり、議事進行を行うことになっております。以下、広瀬市長の進行でよろしくお願いいたします。

(広瀬市長) それでは、暫時の間、私の方で進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

早速議事に入らせていただきます。

議事(1)「第二次教育大綱の策定について」、事務局より説明をお願いします。

(近藤教育総務課長) 資料に基づき、教育大綱・教育振興計画の法的位置づけ、第二次教育大綱・第二次教育振興計画策定の取組状況、第二次教育大綱(案)における現行から改正した部分、パブリックコメントの結果について、説明を行う。

(広瀬市長) ただいま事務局より、第二次教育大綱(案)について、パブリックコメントの結果と共に説明がありました。委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

- (石嶋委員) 学校教育、生涯学習、文化・芸術、スポーツと各分野、様々な角度から考え方とか取組方針が記されており、こんなにたくさん幅広いのではないかと思いましたが、パブリックコメントを読むと更にいろいろな角度から意見を言うてくださる方もいるので、そういう意味で幅広く、まんべんなく対応に努めていることが分かりました。
- (広瀬市長) 今、下野市は市民活動センターをつくっているところだが、大綱を読んで、原点はここにあるのかなと感じた。最初、市民活動センターと生涯学習情報センターがどう違うのかと思っていたが、明確に方向性が生まれていく中での根もとの部分というのは、こういった大綱の中に埋まっているのだなと改めて感じました。
- (永山委員) こういう大綱というのは、市民生活をする上ではあまり関心に向けられないところだと思いますが、例えば学校なら学校で、先生方が子どもたちを前にいろいろな教育に携わっている、自分のいる位置がどこにあるのかというようなことを時々再認識する上では鳥瞰図のように俯瞰するという意味では非常にいいものだと思います。それが一つの方向性の中で、今これをやっているんだよ、今この仕事はこういう意味があるんだというところを再認識する意味では非常にいいものだと思います。また私どもも昨年こちらを拝見しまして、こんなところはこうした方がいいだろう、ここはこうあるべきだろうと提案してまいりましたし、なかなかいいものが出来上がったのかなと感じています。
- (佐間田委員) 協働のまちとか、地域づくりというのが明記されていますが、私も市民活動補助団体から活動してきたので、下野市は協働のまちであると大変感じています。ありがたくもあり、こうやって決まっていたのだなと改めて感じて、また市民に反映できればいいなと思います。
- (熊田委員) 5年経って、古いことが終わって、新しいことだと東の飛鳥やICTの更なる発展などがある。コロナのことも教育振興計画の方に盛り込んでいて、次の5年間が見通せるなと思いました。
- パブリックコメントで思ったのが、80代の方だと視点が違うと思った。議論したのが学校教育のところが多かったと思うのですが、生涯学習において、高齢者にもタブレットを持たせてという、そういう発想はなかった。意見はすごく新鮮に感じた。
- (池澤教育長) 大綱を平成28年に初めてつくって、あれから5年経ったのかというのが率直な気持ちである。そして、新旧対照表をみて、5年間で充実してきたなど。新しい学習指導要領が令和3年度から小中学校と始まりますが、新旧対照表1ページ、2番目にある「新たな時代に対応する教育の充実を努め、確かな学力の定着を目指します。」と。本日校長会がありまして、4月から新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を実践するのは、学ぶ力の育成であると確認し合ったところが、奇しくもきっちり位置付けられている。

それから適正配置基本計画に基づく南河内中学校区の一貫教育の部分で、今こうやって見ると、子どもたちの学びと育ちをつなぐ小中一貫教育が本格的になってきたなというのが実感である。

また、下野市文化財保存活用地域計画ができ、東の飛鳥プロジェクトが市全体を担う大きな事業となった。こういう大きなものになっていくのが大綱なのかなと思った。

最初と比べると盛沢山になって、皆さんの意見の凝縮されたかたちで出来上がってきたなというのが実感である。

(広瀬市長) 本当に根が深く広く張ってきたというのが大綱で感じられる。これらをベースに、また改めて下野市の教育がより充実発展するようにお願いしたいと思います。

それでは、第二次教育大綱（案）について、案のとおり、ご承認いただけますでしょうか。

(全委員異議なし)

それでは（案）を取っていただき、第二次教育大綱とさせていただきます。

続きまして、議事（２）第二次教育振興計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

(近藤教育総務課長) 資料に基づき、第二次教育振興計画（案）、パブリックコメントの結果について、説明を行う。

(広瀬市長) ただいま事務局より、第二次教育振興計画（案）について、パブリックコメントの結果と共に説明がありました。パブリックコメントも細かくご指摘をいただきました。委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

(佐間田委員) まずSDGsが挙げられていて、とても分かりやすく、若い方々にもすぐ分かるものでいいなと思いました。それから大変きめ細かく方向性など決めていて——我が家の子どもたちが下野市外に住んでいて、今まで受けていた教育や今まであった地域の周りの方々との関わりが、当たり前ではなかったと気付いて——当たり前が素晴らしいというのは、こういう基礎があるからなんだなということを改めて感じて、皆様に感謝したいと思います。

(広瀬市長) 都市部にいる大学の同級生と話をすると、子どもたちは田舎に行くと公立の学校に行く。都市部にいると私立の学校に行く。私立にいくと家庭の中に地域が無くなると。やっぱり地域のつながりの強さというのは、子どもたちのというよりは、家庭の中で学校のエリアが地域になる強さだと。鬱陶しいときもあるが、絆を強める大きなものになるものだよという話。都市部にいる者は、年を取ったからもう都会にいる必要がないから引っ越すと簡単に言う。ここの感覚の違いというのが学校からずっと子どもたちの学校と同時に、大人がその時にPTAだったり何だだったり、活動を共にした地域の仲間が地域というものをつくっているというのを改めて感じた。

それでは、ご意見も出たところですので、第二次教育振興計画(案)の報告については、ここまでとさせていただきたいと思います。

議事(3)その他についてであります、事務局よりありますか。

(特になし)

委員の皆様から何かありましたらお願いします。(特になし)

それでは、以上で議事を終了とさせていただきます。

(神田教育総務課課長補佐)

長時間に渡りまして、慎重審議ありがとうございました。

以上で会議を閉会といたします。